

コメ生産・流通・消費の総合誌

月刊食糧ジャーナル

24～27

特集 《連載第324回》

コシヒカリを超えるコメ 「新たな水田政策の基本的な考え方・仕組み」 〈特別編〉今後の米生産の方向性

28～29

シリーズ／新体制整える卸各社の新戦略

(株)ヤマタネ／JR東日本豊里創生(株)へ出資参画。持続可能な農業モデルの確立へ
●今年も東京・深川でドローンショー(7月3日、20:00～)

30～31

公益社団法人日本炊飯協会／

会員炊飯量は前年比93%。「変化を前提として前に進む」

32～35

東洋ライス／

和歌山市と包括連携協定締結。中核市として初。地域活性化へ
和歌山県すさみ町と包括連携協定締結。全国発の「コメの食味維持技術」活用

52～59

サタケ／

- ①「機械だけ、じゃない。」(「FOOMA JAPAN2026」に出展)
- ②バックご飯設備「SILK DELI」を6月1日に新発売
- ③サタケの新聞広告が「広島広告企画制作賞」の「金賞」を受賞
- ④真吟ブランドムービー「真吟～米の真価を磨き、酒の未来を拓く～」

22～23

■今月の視点／45週ぶりに店頭平均価格3500円台に
5*。2900円水準の単品銘柄米も散見

カ ラ ー 特 集

10～13

青森米 東急ストアが『まっしぐら』キャンペーン。連続特Aの『はれわたari』

14～15

山形米 今年も吉村知事は手植えでPR。全農は販促企画を長期展開へ

16～17

岩手米 『金色の風』『銀河のしずく』、幅広い層へ着実な浸透図る

ワイド構成／産米特集

- 36～37 **宮 城** 親子田植え体験会とともに、生きもの調査実施して環境体験
ササニシキ誕生60周年記念事業「みやぎ米グルメ部」プロモーションの一環
- 38～39 **福 島** 順調な生育見せる8年産米。今年も品質・食味に期待が集まる
●内堀知事が“日本一の米をつくりたい”「福、笑い」を田植え
- 40～43 **栃 木** 8年産の生育は良好に推移。コシヒカリ・とちぎの星とも活着良好
分けつ進み莖数確保。JA全農Aコープ消費者招きの田植えツアー
- 44～47 **千 葉** 全体的に生育が進む8年産米。6月中～下旬頃には幼穂形成期に
●秋庭敬一さん(7年産千葉米食味コンクール「粒すけの部」県知事賞)
- 48～49 **「ゆうだい21」／栃木県が「ゆうだい21」を「有望品種」に指定**
宇都宮大学が育成。生産者の所得向上、地域ブランド確立を目指す
- 50～51 **静岡製機／「気化式冷風機」シリーズが今年の猛暑にも大活躍**
●令和8年春の褒章・叙勲で鈴木直二郎社長が「旭日双光章」受賞
- 60～63 **「夏越ごはんの日」／「夏越ごはん」を食べて半年間の厄を払う**
全国各地の飲食店やスーパーなどで「夏越ごはん」メニュー提供



※月刊「食糧ジャーナル」のご送付に使用いたしましたご購入者の皆様の個人情報は、ご送付以外の目的では使用いたしません。
今月の表紙／ハナショウブ